

(平成21年6月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>6月期の野菜の入荷状況は、一部の地域を除いて好天に恵まれ、葉菜類を中心に多くの品目で入荷増となり、野菜全体の入荷量は前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は、前年に単価高で推移した根菜類や、入荷増となった葉菜類だけでなく、果菜類、土物類についても不況や新型インフルエンザ等による需要の低迷から単価安となり、野菜全体としては前年同期を9%下回った。</p> <p>品目別には、長大根、ばれいしょが入荷減の単価高、西洋にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、レタス、きゅうり、なすが入荷増の単価安となり、とまとは入荷前年並みの単価高、ピーマンは入荷減の単価安、たまねぎは入荷増の単価高となった。</p> <p>根菜類は、入荷が前年並みで、価格は17%安となった。 葉菜類は、入荷が12%増加し、価格は15%安となった。 果菜類は、入荷が前年並みで、価格は7%安となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は3%安となった。</p>
果 実	<p>6月期の果実の入荷状況は、開花期の天候不順や作付面積の減少などから入荷減となった品目もあったが、りんご類、ぶどう類、メロン類については入荷増となり、果実全体の入荷量としては前年同期を7%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により前年同期を7%下回った。</p> <p>品目別には、ハウスみかんが入荷減の単価高、デラウェア、アンデスメロンが入荷増の単価安となり、桜桃、アールスメロンが入荷減の単価前年並みとなった。また、ふじりんごは入荷前年並みの単価安となり、大玉スイカは入荷量、単価ともに前年並みとなった。</p> <p>柑橘類は、入荷が4%減少し、価格は8%安となった。 りんご類は、入荷が10%増加し、価格は13%安となった。 桜桃は、入荷が10%減少し、価格は前年並みとなった。 ぶどう類は、入荷が19%増加し、価格は10%安となった。 メロン類は、入荷が26%増加し、価格は14%安となった。 スイカ類は、入荷が前年並み、価格も前年並みとなった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	<p>青森県，北海道を中心に，千葉県，岡山県，長崎県からの入荷。播種期の低温による生育不良が見られ，細物中心の入荷となったことから，入荷量は前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は，細物中心の入荷となったものの，品薄状態から単価高となり，前年同期を14%上回った。</p>
西洋人参	<p>長崎県を中心に，兵庫県，和歌山県，徳島県からの入荷。主力の長崎県から冷蔵物が潤沢に入荷し，入荷量は前年同期を16%上回った。</p> <p>価格は，入荷増に加え，前年が極端な単価高で推移したことから前年同期を46%下回った。</p>
【葉菜類】	
はくさい	<p>長野県を中心に，茨城県，鹿児島県，群馬県，滋賀県からの入荷。各産地とも生育期の天候に恵まれ，大玉傾向での入荷となったことから，入荷量は前年同期を24%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を23%下回った。</p>
キャベツ	<p>茨城県，京都府を中心に，愛知県，兵庫県，長野県からの入荷。各産地とも生育期の天候に恵まれ，大玉傾向での入荷となったことから，入荷量は前年同期を9%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を9%下回った。</p>
ほうれんそう	<p>岐阜県を中心に，滋賀県，茨城県，北海道，京都府からの入荷。各産地とも天候に恵まれて潤沢な入荷となり，入荷量は前年同期を10%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を5%下回った。</p>
レタス	<p>長野県を中心に，山梨県，群馬県からの入荷。各産地とも天候に恵まれて作柄は良く，大玉傾向での入荷となったことから，入荷量は前年同期を15%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を25%下回った。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>滋賀県，宮崎県，高知県を中心に，京都府，愛媛県からの入荷。 各産地とも天候に恵まれて潤沢な入荷となり，入荷量は前年同期を8%上回った。 価格は，入荷の集中した上中旬が単価安で推移し，全体では前年同期を19%下回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知県を中心に，岡山県，京都府からの入荷。 各産地とも前月の曇天により生育が遅れていたものの，天候の回復とともに入荷量は増加し，全体の入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は，入荷の集中した下旬は単価安で推移し，全体では前年同期を13%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>北海道を中心に，熊本県，京都府，福岡県，三重県からの入荷。 主力の北海道では曇天の影響から着色遅れが見られ，品薄状態だったが，中央集散機能の発揮により入荷量は前年並みとなった。 価格は，全国的には品薄状態のため前年同期を7%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>高知県，茨城県を中心に，大分県，宮崎県からの入荷。 各産地とも生育初期の曇天や低温によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を5%下回った。 価格は，作柄不良によって下位等級の発生が多く，入荷減ながら前年同期を14%下回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>長崎県を中心に，熊本県，静岡県，北海道，千葉県からの入荷。 各産地とも生育初期の天候不順によって作柄が悪く，前倒し出荷を行ったことから小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を13%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を9%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>兵庫県を中心に，佐賀県，北海道，愛知県からの入荷。 主力の兵庫県産については生育初期の低温によりやや小玉傾向となったものの，収穫期は天候に恵まれ，入荷量は前年同期を11%上回った。 価格は，収穫期の天候が良かったことから高品質であり，入荷増ながら前年同期を14%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 青うめ</p>	<p>和歌山県を中心に，福井県，奈良県，京都府からの入荷。 主力の和歌山県は天候に恵まれて前進出荷傾向ながら，入荷量は前年並みとなった。 価格は，梅干や梅酒などへの加工の手間が必要なことから消費者離れが進んでおり，前年同期を11%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	<p>佐賀県を中心に，長崎県，和歌山県からの入荷。 各産地とも加温用重油の高騰以降は栽培面積を減少しており， 入荷量は前年同期を15%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を3%上回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森県からの入荷。 入荷量は前年並みとなった。 価格は，下位等級の割合が多く，前年同期を12%下回った。</p>
桜桃	<p>山形県を中心に，山梨県からの入荷。 開花期の天候不順によって着果不良が見られ，入荷量は前年同期を10%下回った。 価格は，収穫期の高温により品質低下が見られ，入荷減ながら前年並みとなった。</p>
デラウェア	<p>島根県を中心に，大阪府，奈良県，山梨県からの入荷。 主力の島根県は，前年が天候不順により入荷減だったことから， 入荷量は前年同期を20%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を12%下回った。</p>
アールスメロン	<p>熊本県，静岡県を中心に，宮崎県，高知県からの入荷。 各産地とも加温用重油の高騰によって減少していた生産面積は徐々に回復しているものの， 入荷量は前年同期を17%下回った。 価格は，入荷減ながら，不況による需要の低迷から前年並みとなった。</p>
アンデス	<p>茨城県，熊本県を中心に，山形県からの入荷。 各産地とも天候不順により生育の遅れていたものが集中入荷し， 入荷量は前年同期を39%上回った。 価格は，大玉傾向で品質も良好だったものの，入荷増により前年同期を12%下回った。</p>
大玉スイカ	<p>鳥取県を中心に，熊本県，長崎県，愛知県，石川県からの入荷。 各産地とも加温用重油の高騰以降は生産面積を減少しているものの， 生育の遅れていたものが当月に集中入荷し，入荷量は前年並みとなった。 価格は前年並みとなった。</p>